



貸出冊数は順調に伸びています

図書の貸出冊数は、5月に新型インフルエンザのための休校措置があり、図書館もこれに伴って休館したことで、同月の貸出冊数は昨年度と比べて600冊余り減少していました。しかし、6月に入ると一ヶ月間に6,000冊を上回って、5月に低下していた冊数も殆ど回復しました。さらに、夏期休暇を前にした7月には約8,400冊に達し、機械システムで統計を取り始めて以来、最高の数値を記録しました。これによって、9月末までの貸出総数は26,854冊になり、昨年と同時期と比べて1,217冊増加しています。

この増加傾向は、学生の皆さんが卒業論文や卒業研究に真剣に取り組んでいることや、「本の虫プロジェクト」などで、多くの本が読まれていることなどが背景にあると思われ、図書館でも大変に歓迎しております。

なお、昨年度末の貸出総数は50,967冊で、蔵書総数の延べ一割を貸出しました。また、学生の皆さんへの貸出は45,073冊で、学生一人当たり9.2冊となっています。今年度は学生一人当たりの貸出冊数を10冊に近づけ、さらにこの数値を越えていくことを目指しておりますので、秋の爽やかな季節に多くの図書をお使いください。

第一閲覧室の机と椅子を一新しました

本学図書館は夏期休暇中に学校法人や大学当局の理解と協力を得て、第一閲覧室の閲覧机27台と椅子162脚を全て入れ替えました。これまでの椅子と机は、長く使われたことから老朽化しているものもありましたが、この入れ替えによって、室内の壁面部分の木製「付き板」を使っ



机と椅子が新しくなった第一閲覧室

た伝統的な風情を残しながらも、この部屋全体が新しい雰囲気となりました。

図書館システムの一部を入れ替えました

本学図書館は夏期休暇中に図書館システムのハード機器の一部の入れ替え工事を行いました。今回入れ替えたのは、CD-ROMとDVDをコントロールしているサーバで、現在まで使っていたものが老朽化したことによって、新機種に入れ替えたものです。

この新しい機種は、これまでの2倍近い枚数のCD-ROMを運用でき、国立国会図書館の明治期以降の刊行物の書誌データであるJ-BISCをはじめ、本学の卒業論文などのデジタル情報が幅広くこのシステムで運用されます。

夏の「高校生が知っている世界の有名な書物展」を開催しました

本学図書館が本学のオープンキャンパスの開催日に行っている「高校生が知っている世界の有名な書物展」の夏の部を7月31日（金）から8月2日（日）までの3日間と9月12日（土）に開催しました。出展資料は本誌の前号でもお知らせしましたが、「世界の文学」をはじめ、「世